

年 組 名前：

笑顔あふれる地域に

書家 南部署に「笑い竹」寄贈



▲「笑い竹」を贈る志村雅芳さん(左)＝南部署

志村さんが製作した「笑い竹」

南部町福士の書家志村雅芳さん(65)は、笑顔の警察官をモチーフにした置物「笑い竹」を作り、25日に南部署に寄贈した。

「笑い竹」は高さ約20センチ。町産のモウソウダケをそぎ切りし、墨で目を描いて、一つ一つ違った笑顔を表現した。布と紙で警察官の制服をつけて13個を作った。

志村さんは仕事のため、たびたび早朝に身延町常葉の国道300号を通行している。交通安全のために立ち番をする駐在所員の姿に心を打たれたという。「署員に感謝の気持ちを伝えたい」と考え、1カ月ほどかけて13個を作った。

署で行われた贈呈式で、志村さんが萩原健署長や署員に手渡した。署によると、南部署と管内11の駐在所の窓口に設置する。志村さんは「笑」という字にも竹が含まれ、縁起が良い。笑顔あふれる地域づくりに役立ててほしい」と話していた。

〈深沢滯〉

(2023年12月26日付 山梨日日新聞15面)

問1

南部町の志村さんは、なにをモチーフにした置物「笑い竹」を寄贈しましたか。

.....

問2

南部署は、笑い竹をどこに設置しますか。

.....

問3

「笑」のほかに、あなたが知っている「たけかんむり」の漢字を、たくさん書いてください。

.....